

ANIMAL CENTER NEWS

No . 12

目次

- ◆第 53 回日本実験動物技術者協会総会 in 松山
- ◆重要！スタッフ不在の連絡【10月24～25日】
- ◆モニター動物の微生物モニタリング検査結果
- ◆10月1日より料金改定実施
- ◆ラット生殖工学の新規サービスはじめました
- ◆ブタのウェットラボ技術支援料金
- ◆令和元年度大学院博士課程選択実習を実施しました
- ◆実験動物体慰霊祭



(写真1) アンパンマン列車

◆第53回日本実験動物技術者協会総会 in 松山

10月24日～10月26日に第53回実験動物技術者協会総会 in 松山を松山市総合コミュニティセンターにて開催いたします。当日受付もおこなっておりますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

<http://www.convention-w.jp/jaeat2019/index.html>

伝えたい技術、
伝えるための技術
世代を越え、稔りゆく未来につなぐ

大会長 矢田 範夫
(岡山大学自然生命科学研究支援センター)

実行委員長 柳原 裕太
(愛媛大学学術支援センター)

事務局長 三上 崇徳
(川崎医科大学中央研究部中央研究センター)

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577
川崎医科大学・中央研究部 中央研究センター
TEL086-462-1111(内線29622) FAX086-462-1199
e-mail:jaeat2019@med.kawasaki-m.ac.jp

大会事務局

JAEAT
ANNUAL
MEETING
2019
IN
MATSUYAMA

**第53回 日本実験動物
技術者協会総会 in 松山**
2019.10.24(木)～26(土)
松山市総合コミュニティセンター
〒790-0012 愛媛県松山市湊町七丁目5番地

一般社団法人日本実験動物技術者協会

◆スタッフ不在のご連絡【10月24日(木), 25日(金)】

学会開催に伴い、10月24日(木), 25日(金)は技術職員が不在となります。

上記期間中は水漏れ事故等の対応が困難になるため、ご自身で動物の健康状態等の確認をお願いします。

また、25日(金)のチャールスリバーからの動物搬入は避けていただけると幸いです。

ご不便お掛け致しますが、何卒ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

◆モニター動物の微生物モニタリング検査結果

各飼育室のモニターマウスを用いて、定期的（3ヶ月おき）に実施している微生物モニタリングを令和元年9月11日（水）に実施しました。下記の項目に関して、MONILISAKit（わかもと製薬株式会社）による自家検査を行い、擬陽性検体に関しては実験動物中央研究所に検査を依頼し、検査結果はすべて陰性でした。

検査項目：HVJ, MHV, Myco, Tyzzer

検査結果：<https://www.adres.ehime-u.ac.jp/bumon/190911.pdf>

◆10月1日より料金改定実施

この度、令和元年10月1日より動物実験部門予約システムの利用料金を改定しました。機器利用、受託業務、施設利用、動物飼育料の全てを10%値上げしています。センター利用者の皆様にはご理解とご協力の程お願いいたします。

◆ラット生殖工学の新規サービスはじめました

これまで当部門で請け負っていなかったラットの受精卵凍結・凍結胚からの個体作製・SPF化の新規サービスをはじめました。料金は以下の通りとなりますので、詳細は下記までお問い合わせください。

		価格(円)
ラット受精卵凍結	1系統	40,000
凍結胚からのラット作製	1系統	60,000
ラットSPF化	1系統	100,000

問い合わせ先：学術支援センター動物実験部門（内線：5446）

◆ブタのウェットラボ技術支援料金設定について

ブタのウェットラボ技術支援料金を設定しました。業務内容と料金は以下の通りとなりますので、詳細は学術支援センター動物実験部門(内線：5446)までお問い合わせください。

業務内容	金額
不動化・麻酔導入 *不動化から気管挿管等まで	6,000円
術中の動物モニタリング（1匹あたり）	10,000円（3h）

◆令和元年度大学院博士課程選択実習を実施しました

令和元年9月13日に、下記内容の令和元年度大学院博士課程選択実習を実施しました。8名の先生方が参加し、実際に動物を取り扱いながら、日常の動物実験作業に必要な不可欠な手技を習得して頂きました。

実習タイトル：動物実験の基礎

指導教員：今井祐記、佐伯法学

所属：ADRES 動物実験部門／PROS 病態生理解析部門

実施時期：9月13日（金） 15:00～17:00

場所：機能系実習室1

対象動物：マウス・ラット

内容：馴化・保定法、投与法（腹腔、皮下）、採血法（尾静脈、後大静脈、心臓）、
麻酔法（注射および吸入麻酔器を使った麻酔）、安楽死法、解剖など

◆実験動物体慰霊祭

令和元年9月27日(金)、医学部コンコースにおいて動物実験動物体慰霊祭を執り行いました。慰霊祭には、動物実験施設の利用者である学生・教職員ら115人の関係者が参列し、参列者全員による黙祷が捧げられました。続いて、学術支援センターの今井祐記動物実験部門長が、実験動物の諸霊に安らかに眠っていただくよう祈念して慰霊の辞を述べました。最後に参列者全員による白菊の献花が行われ、慰霊祭は終了しました。



(写真 2)今井部門長による慰霊の辞



(写真 3)参列者による献花